

平成22年7月27日

高松市長 大西 秀人 殿

高松市香川地区地域審議会

会長 長尾 光喜



建設計画に係る平成23年度および24年度の実施事業に関する  
意見について

盛夏の候、貴職におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、平成22年5月10日付け高地政第65号で依頼のありました、建設計画に係る平成23年度および24年度の実施事業について、別紙のとおり当地域審議会の意見等を提出いたしますので、建設計画関連事業を含め、重点的・戦略的に推進する主要な施策・事業を取りまとめる「第2期まちづくり戦略計画」に、当該意見等を十二分に反映していただきますようお願い申し上げます。

## 建設計画に係る平成23年度および24年度実施事業に関する意見について

1ページ

地区名：香川地区

番号	項目	意見の内容
1	高松市民病院香川分院機能の存続について	高松市民病院香川分院は、医師数の減少や資金収支の悪化などにより、存続が危ぶまれる事態となっている。医師確保が難しい現状は理解できるが、新病院整備開院までは、あらゆる方策を講じ、医師確保に奔走していただき、何とか南部地域の中核医療機関としての分院機能を維持願いたい。
2	保育所の整備および幼保一体化計画について	まちづくり戦略計画では、平成22・23年度に大野、大野東保育所の改築の基本構想を策定することとなっているが、保護者をはじめ地域住民の意見を十分に聞いて当該基本構想の策定を進められたい。また、川東保育所についても、大野、大野東保育所と同様に老朽化が進んでおり、すみやかな時期に、同保育所の改築等の基本構想を策定することを要望する。また、一方で幼保一体化（一元化）保育について香南地区で計画している他、新たに下笠井、塩江、庵治、牟礼地区でも検討しているようであるが、香川地区の今後の取組み方針について示されたい。
3	ふれあい創作館の有効利用について	「ふれあい創作館」は生涯学習の活動拠点施設として、交流を深める場所として整備されているが、現実には、陶芸関係者のみの利用となっていると認識している。既存施設を有効利用する観点から、もっと積極的に利用推進方策を講じるべきではないか。
4	特色あるスポーツ施設の整備促進について	建設計画の重点取組事項である「香川町を中心とする南部地域の核となる特色あるスポーツ施設の整備」について、市域全体のスポーツ施設のバランスを考慮する中、計画的に協議検討を進め、平成22年度早期に候補地を絞込み、具体的な整備方針を策定されたい。
5	川東体育館の修繕等整備について	川東体育館は、昭和43年3月に竣工した建物であることから、かなり老朽化している。この件に関しては、一昨年に要望し、対応方針も示され、「21年度の耐震診断を見送り、今後は施設の利用状況や老朽度等を勘案した上で、耐震化の必要性などについて、検討していきたい」となっているが、その後の経過および対応方針を示されたい。

## 建設計画に係る平成23年度および24年度実施事業に関する意見について

2ページ

地区名：香川地区

番 号	項 目	事 業 の 内 容
6	公共下水道施設の早期整備について	<p>香川地区における公共下水道整備普及率は、平成21年度末で39.1%であり、まだ高松市域全体の平均普及率59.1%を大きく下回っている。これまで香川町地域は下水道等の整備が遅れてきたため、生活排水などの流入により水路、ため池、河川などが汚濁され、悪臭発生の要因ともなっている。今後も引続き、建設費用・維持管理コスト等を総合的に勘案しながら、香川町地域における下水道施設の効果的な整備促進を図り、下水処理人口普及率を高め生活環境改善に努めていただきたい。</p> <p>なお、香川地区の公共下水道事業の強力な推進計画と進捗状況等について、適宜報告願いたい。</p>
7	伝統文化の保存継承について	<p>「ひょうげ祭り」や農村歌舞伎「祇園座」の保存活動および後継者育成に対して、引続き積極的な支援を要望する。</p> <p>文化的にも価値が高く、香川県の指定民俗文化財にもなっている農村民芸「ひょうげ祭り」や農村歌舞伎「祇園座」の保存・継承・後継者育成事業に対して、今後も高松市の貴重な文化財として、積極的な支援を要望する。</p> <p>また、現在、市のホームページや広報紙等へ「ひょうげ祭り」や農村歌舞伎「祇園座」の公演記事などを掲載していただいておりますが、高松市の代表的な文化財として、もっと広く全国にPRをするために、保存会独自でも県外の団体との交流を深めてPRをしておりますので、更なる文化芸術の交流や効果的な情報発信を図るための支援をお願いしたい。</p>
8	市道の整備について	<p>①市道向坂宮下線の早期整備 本路線は、香川町時代から産業の振興と地域の活性化を図るため、また、市営葬斎場「やすらぎ苑」の整備時において、葬斎場利用・地域住民の利便性を向上させることを目的に、香川町南部地域の東部を縦断するように計画された大変重要な路線であることをまず認識いただきたい。しかも「まちづくり戦略計画」の重点取組事業として位置づけされ、平成20年度からの事業計画でも調査を実施することになっている路線ですので、早期整備に向けた積極的な取組みを要望する。</p> <p>また、この路線の整備にあたっては、全市的なバランスにも配慮する中で、将来交通量を精査し、是非とも都市計画マスタープランに基づく生活基幹道路として扱い、2車線道路として整備願いたい。</p> <p>②市道中坪寺井線の早期整備 本路線は、「まちづくり戦略計画」の重点取組事業としても位置づけられて、平成20年度からの事業計画で調査を実施することになっている重要な路線であるので、早期整備に向けた積極的な取組みを要望する。</p> <p>③市道山下横岡線の拡張整備 市道山下横岡線については、先の地域審議会において「まずは建設計画掲載路線を最優先に整備し、その整備状況も見極めながら、交通量等現状調査を行い適切に対応していく」との回答を得ているが、危険箇所があり、交通量の増加に伴い危険性も増大しているため、建設計画掲載路線の整備と平行して、早急に市道山下横岡線の現地調査および拡幅整備を要望する。</p>